令和4年第4回野辺地町議会

定例会会議録

招集年月日 令和4年9月5日(月)

招集場所 野辺地町議会会議場

開会(開議) 令和4年9月5日(月)午前9時30分

出席議員(10名)

1番	高田光雄	2番	江渡正樹
3番	中谷謙一	5番	野坂充
6番	岡山義廣	7番	高沢陽子
8番	杉山福行	9番	戸澤栄
10番	大湊敏行	11番	赤垣義憲

欠席議員(1名)

4番 古林輝信

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町	長	野村秀雄
副町	長	江刺家和夫
教	育	長 新渡幹夫
総	務	課 長 山田勇一
企	画	財 政 課 長 秋島祐成
防	災	管 財 課 長 西館峰夫
産	業	振 興 課 長 長根一彦
税	務	課 長 高山幸人
町	民	課 長 上野義孝
介	護	・ 福 祉 課 長 飯田貴子

健康づくり課長	木 明	修
建設水道課長	瀧 澤	誠
会計管理者	小 野 早 苗	
学校教育課長 兼学校給食共同調理場所長	富 吉 卓 弥	
学校教育課指導室長	中 野 良 喜	
社会教育・スポーツ課長兼中央公民館長 兼図書館長兼歴史民俗資料館長	五 十 嵐 洋 介	
代表監査委員	蛭 名 進 一	
総務課行政担当	二 木 文 弥	

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	玉 山 順 一
議会事務局主幹	濱 中 太 一

議事日程（第1号）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案の上程
- 日程第4 提案理由説明
- 日程第5 常任委員会報告
 - 1、総務常任委員会
 - 2、建設産業保健衛生常任委員会

会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の2名を指名した

- 1番 高田光雄
- 10番 大湊敏行

町長の提出議案

- 議案第42号 令和3年度野辺地町一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第43号 令和3年度野辺地町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第44号 令和3年度野辺地町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第45号 令和3年度野辺地町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第46号 令和3年度野辺地町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第47号 令和3年度野辺地町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件
- 議案第48号 令和3年度野辺地町水道事業特別会計決算の認定を求めるの件
- 議案第49号 令和4年度野辺地町一般会計補正予算（第4号）
- 議案第50号 令和4年度野辺地町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第51号 令和4年度野辺地町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 議案第52号 令和4年度野辺地町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案第53号 令和4年度野辺地町水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第54号 野辺地町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
案

議案第55号 野辺地町教育委員会委員の任命の件

議会の提出議案 な し

◎開会及び開議の宣告

○議長（戸澤 栄君） おはようございます。ただいまから令和4年第4回野辺地町議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

（午前 9時31分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（戸澤 栄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第109条の規定により、1番、高田光雄君、10番、大湊敏行君を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（戸澤 栄君） 日程第2、会期の決定を議題にします。

お諮りします。議会運営委員会で会期日程について審議した結果を事前に皆さんに配付しております。本定例会の会期は、本日から9月9日までの5日間にしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） 異議なしと認めます。

会期は、本日から9月9日までの5日間と決定しました。

会期日程	
9月 5日	本会議(会議録署名議員の指名、会期の決定、提案理由説明、委員会報告)
9月 6日	本会議 (一般質問)
9月 7日	本会議 (議案審議 (決算議案))
9月 8日	本会議 (議案審議 (決算議案))
9月 9日	本会議 (議案審議 (補正予算等)、陳情審議)

◎議案の上程、提案理由説明

○議長（戸澤 栄君） 日程第3、議案の上程であります。議案第42号から議案第55号までを一

括上程します。

日程第4、町長から提案理由の説明を求めます。

はい、どうぞ。

○町長（野村秀雄君） おはようございます。本日ここに、令和4年第4回町議会定例会が開催され、令和3年度歳入歳出決算をはじめ、補正予算及び各議案についてご審議いただくに当たり、6月定例会以降の諸般の事項についてご報告を申し上げます。

初めに、昨日3年ぶりに開催された第30回青森県民駅伝大会において、野辺地町チームは町の部で3位、総合8位というすばらしい活躍を見せてくれました。会場で応援をしていた私もとても感動いたしました。テレビ、ラジオで視聴された町民の皆様も大きな喜びを感じていただけたことと思います。選手をはじめ多くの関係者の方々に敬意と感謝を申し上げます。

次に、「8月の大雨・長雨に係る対応」であります。

8月3日の未明から早朝にかけての降雨により、明前川河岸の小規模崩落や切明地区急傾斜地の土砂崩れ、町道への冠水などがありました。幸いにも人的被害はなく、また住宅等への浸水被害などの報告もありませんでした。

この被害箇所につきましては、必要な復旧予算を今定例会の補正予算に計上するとともに、県が管理するものに関しては、県と連携しながら速やかな対応を図ってまいりたいと考えております。

また、大雨・長雨による農作物への影響ですが、現在被災状況の確認を続けておりますが、去る8月29日、ゆうき青森農業協同組合、乙部輝雄代表理事組合長から、被害の現状と今後の見通しについて報告をいただきました。

特に基幹作物の「こかぶ」につきましては、「播種したものが流された」、「長雨で圃場が乾かず播種できない」、「収穫間際のこかぶが尻割れしている」などで、出荷量の減少は免れない状況にあると説明を受けたところであります。

今後、農協と情報を共有しながら、対応を協議・検討していくこととしたところであります。

次に、まかど温泉スキー場についてであります。新聞報道でもご承知のとおり、スキー場の第2及び第3リフト設置箇所の土砂崩れが発生し、第2リフトの支柱が倒壊するなど甚大な被害が発生しております。現在十和田観光電鉄株式会社において、詳細な被害状況の把握に努めているところですが、今シーズンの営業については、非常に厳しい状況にあるとの話を受けているところであります。

このたびの大雨、長雨による被害につきましては、町といたしましては今後の復旧・復興に向け、関係者や関係機関と連携を図りながら、できる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、「新庁舎建設事業について」であります。

先月8日に開催されました町議会臨時会において、庁舎等新築工事の請負契約に関する議決を賜

りましたことから、同日に当該契約の請負業者であります大豊建設株式会社東北支店に対し、本契約が成立した旨の通知をいたしました。

また、先週には議員各位にもご参列いただき、地鎮祭が執り行われました。無事挙行できましたことに深く感謝申し上げますとともに、町民サービスの向上につながる庁舎建設に向け、大きな一歩を踏み出したという思いであります。

今年度は、現第2庁舎の解体と防災無線の移設に係る工事が主となりますが、令和6年12月までの工事完了を目指し鋭意進めてまいりますので、ご助力賜りますようお願い申し上げます。

次に、6月26日に実施されました「町内ふれあい一斉清掃について」であります。

朝早くにもかかわらず、約960人も多くの町民の皆様にご参加いただき、町内の公園や道路、河川敷などの清掃と草刈りを行っていただきました。おかげさまで、可燃・不燃物合わせて約29トンものごみを回収することができました。

当日は、私も激励のため各自治会を巡回させていただきましたが、多くの町民の皆様が力を合わせて活動されているところを拝見し、協働のまちづくりと地域コミュニティの大切さを再認識したところであります。

ご参加いただきました町民の皆様には、心より感謝申し上げます。

次に、先月17日から20日にかけて実施いたしました「のへじ・ファン・ミーティングについて」であります。

時期的に、県内で新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたことや、その感染症対策として、会場を3か所に絞って実施したことなどもあり、例年より参加者数が少なかったことは否めませんが、それぞれの会場で新庁舎の建設や納税環境の整備などへのご質問をはじめ、健康づくり事業の充実、SNSを活用した町の情報発信、除排雪対策に対する提言など、幅広い分野にわたる貴重なご意見をいただきました。

概要につきましては、10月の広報に掲載する予定としておりますが、いただいたご意見等につきましては、町政運営の貴重な資料とさせていただくとともに、今後も引き続き町民との対話の機会を大事にしていきたいと考えております。

次に、町内での2つのイベントについてご報告いたします。

まずは、8月5日から21日までの17日間、愛宕公園において、約10万個のLED電球を飾りつけた「のへじ光物語2022」が開催されました。

降雨により点灯を休止する日もありましたが、連日多くの町民が訪れたほか、最終日に近づくにつれ、町外からの見物客も増え、きらびやかで幻想的なイルミネーションを満喫しておりました。期間中の入り込み客数は、約8,700人とのことであります。

また、同じく21日には「のへじ祇園まつり 祇園囃子・神楽伝統継承会」が開催されております。

のへじ祇園まつりは、残念ながら3年連続で中止となったこともあり、祇園囃子と神楽を継承していくための取組として実施されたものであります。

当日は、4つの祭典部が参加し、会場となった中央公民館において、ホールでは祇園囃子の披露、駐車場では神楽の競演等が行われました。

3年ぶりに生の神楽の音色が響き渡りましたが、来年こそはコロナが終息し、町民の笑顔と活気の下、まつりを開催できますようお願いしております。

最後に、「野辺地町産直施設の活用について」であります。

コロナの影響などにより休止していた産直施設「常夜燈市場」であります。先般当該施設の活用について公募したところ、「株式会社北前船」1者から応募がありました。

同社は、食品卸業を営んでいた代表の佐々木氏が新たな会社を立ち上げ、野辺地町を拠点として町の農水産物の加工と販売、さらには広く青森県産の食材の魅力発信にも取り組んでいきたいというビジネスプランを持っています。

先月、同社の事業計画と施設の活用方針について、漁協や商工会等町内の産業団体と一緒に説明を受け、意見交換を行った結果等を踏まえた上で、このほど「株式会社北前船」に対し施設の利用を許可いたしましたことをまずもって議員の皆様方にご報告申し上げます。今後、町の特産品の販路拡大や情報発信において、一翼を担っていただけることを期待するものであります。

それでは、本定例会に上程いたしました議案につきまして、その概要をご説明申し上げ、ご審議の参考に供したいと存じます。

議案第42号、「令和3年度野辺地町一般会計歳入歳出決算」についてご説明申し上げます。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に対応しつつ、地域経済の活性化にも力を入れなくてはならないという新たなステージに踏み込んだ年でありました。祇園まつりなど中止せざるを得ない状況となったものもございましたが、えがおの飲み歩き券を活用した商店街の活性化など、街のにぎわいを取り戻す施策を展開できたことは、これからの希望につながるものであります。

また、決算における実質収支額は3億9,272万円余りの黒字となり、経常収支比率は91.3と大きく改善いたしました。議員の皆様のご指導の下、改善に取り組んでまいりました成果が現れつつあるものと感じております。

令和3年度から「第6次野辺地町まちづくり総合計画」がスタートしました。町の将来像である「未来につなげる幸せのまち・のへじ」を目指して、6項目の基本目標に沿って各種事務・事業を展開しております。

「第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せて、効果検証を実施しながら、人口減少対策に引き続き取り組んでまいります。

それでは、令和3年度の決算の概要をご説明いたします。

まず、歳入について、その主なるものをご説明いたします。

初めに、町税であります。町税総額では13億2,615万円余りで、前年度に比較して2,159万1,000円余り増加しました。令和2年度コロナ徴収猶予分を含む固定資産税1,473万3,000円余りの増やたばこ税1,114万6,000円余りの増が主な要因であります。

地方消費税交付金は3億440万5,000円で、前年度に比較して2,175万円増加いたしました。

地方交付税は27億6,692万3,000円で、前年度に比較して3億6,952万3,000円増加いたしました。

国庫支出金は14億4,830万2,000円余りで、前年度に比較して7億6,184万2,000円余り減少しました。特別定額給付金事業費13億550万8,000円余りの減が主な要因であります。

県支出金は8億1,335万2,000円余りで、前年度に比較して6,112万7,000円余り減少しました。電源立地地域対策交付金3,356万円の減や青森県新型コロナウイルス感染症対応地域経済対策事業費3,125万6,000円の減が主な要因であります。

財産収入は2,206万3,000円余りで、前年度に比較して6,575万3,000円余り減少しました。港湾敷地の売払収入7,002万9,000円余りの減が主な要因であります。

寄附金は7,587万1,000円で、前年度に比較して6,367万3,000円増加いたしました。

繰越金は1億9,075万2,000円余りで、前年度に比較して1億7,576万1,000円余り増加いたしました。

町債は4億8,904万円で、前年度に比較して2,259万4,000円減少しました。

次に、歳出について、その主なるものを申し上げます。

総務費は7億6,981万4,000円余りで、前年度に比較して13億7,122万円余り減少しました。特別定額給付金事業の減によるものであります。

民生費は23億3,014万4,000円余りで、前年度に比較して3億8,112万6,000円余り増加しました。住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業1億7,813万9,000円余りの増や、子育て世帯への臨時特別給付金事業1億2,887万5,000円余りの増が主な要因であります。

衛生費は10億5,427万4,000円余りで、前年度に比較して5,937万6,000円余り増加しました。新型コロナウイルス感染症対策費5,880万3,000円余りの増が主な要因であります。

農林水産業費は1億5,329万5,000円余りで、前年度に比較して3,117万5,000円余り減少しました。柴崎地区健康レクリエーション施設に係る工事費1,919万6,000円の減が主な要因であります。

商工費は1億6,434万5,000円余りで、前年度に比較して3,105万3,000円余り増加しました。事業者支援給付金事業2,220万円や感染対策安全・安心認証制度事業1,159万6,000円余りなどのコロナ対策に係る事業を行ったことが要因であります。

土木費は4億7,467万円余りで、前年度に比較して4,978万5,000円余り増加しました。除雪対策費3,379万7,000円の増が主な要因であります。

消防費は5億3,526万3,000円余りで、前年度に比較して3,273万7,000円余り増加しました。高規格救急車購入に係る北部上北広域事務組合への消防費負担金の増が主な要因であります。

教育費は6億8,058万9,000円余りで、前年度に比較して1,335万3,000円余り増加しました。小・中学校のエアコン整備費の増が主な要因であります。

公債費は7億2,720万9,000円余りで、前年度に比較して7,493万1,000円余り増加しました。約定償還の増のほか、新町地区の庁舎建設に係る地方債の繰上償還2,786万円の増が主な要因であります。

諸支出金は4億4,683万9,000円余りで、財政調整基金や役場庁舎建設基金などへの積立金の増加により、前年度に比較して2億9,925万6,000円増加いたしました。

これらの結果、歳入決算額は78億2,020万4,000円余り、歳出決算額は74億1,723万5,000円余り、歳入歳出差引額は4億296万8,000円余りとなりました。令和3年度から翌年度へ繰り越すべき財源は1,024万1,000円で、実質収支額は3億9,272万7,000円余りの黒字となります。

前年度との比較では、歳入で2億4,020万4,000円余り、率にして3%の減、歳出では4億5,242万円余り、率にして5.7%の減となりました。

令和3年度一般会計の財政状況を示す指標のうち、経常収支比率は91.3%で、前年度より8.6ポイント減少いたしました。この大幅な減少は、分母となる町税等の一般財源収入のうち、普通交付税をはじめとした国からの交付金が増加したことが主な要因であります。

貯金である財政調整基金の残高は7億9,388万円余りで、前年度と比較して7,160万円の増となりました。一方、借金である町債の残高は58億2,984万1,000円余りで、前年度と比較して2億2,065万円余り減少しました。

以上が一般会計の決算状況であります。実質収支は大きな黒字となり、経常収支比率は90%台前半となりましたが、今後も第5次行財政改革大綱に掲げる事項を確実に実施していくとともに、財政規律の確立に全庁を挙げて取り組んでまいります。

続いて、「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に規定されております令和3年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率についてご報告いたします。

健全化判断比率は、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」の4つの指標により示されるものであります。

普通会計を対象にした「実質赤字比率」及び公営事業会計を含めた全会計を対象にした「連結実質赤字比率」は、いずれも実質収支額が黒字のため、比率は算定されません。

「実質公債費比率」は、町の全会計のほか、町が加入している一部事務組合も含めた地方債の返済額の大きさを示す指標であります。その比率は7.5%であり、昨年度と比較して0.1ポイントの改善であります。早期健全化基準の25%を下回っております。

「将来負担比率」は、町の全会計及び一部事務組合のほか、地方公社を含めた将来負担を表した指標であります。その比率は8.7%であり、昨年度と比較して13.0ポイントの改善であります。早期健全化基準の350%を下回っております。

次に、公営企業会計に係る「資金不足比率」についてであります。下水道事業会計及び水道事業会計ともに資金不足が生じていないことから、比率は算定されません。

なお、健全化判断比率及び資金不足比率につきましても、監査委員より算定の基礎となる事項を記載した書類とともに審査を受け、議員各位に配付したとおりの意見書を頂いているところであります。

次に、議案第43号、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」であります。

歳入決算額は61億1,712万円余り、歳出決算額は15億6,964万2,000円余りで、実質収支額は4,747万7,000円余りとなりました。

医療費については、前年度よりも減少しましたが、国保財政は依然として厳しい状況にあります。今後も一層の医療費の適正化に取り組む必要があるものと考えております。

議案第44号、「後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算」であります。

歳入決算額は1億8,138万6,000円余り、歳出決算額は1億7,836万2,000円余りで、実質収支額は302万3,000円余りとなりました。

次に、議案第45号、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」であります。

歳入決算額は17億9,920万1,000円余り、歳出決算額は17億1,880万4,000円余りとなり、実質収支額は8,039万7,000円余りとなりました。

次に、議案第46号、「介護サービス事業特別会計歳入歳出決算」であります。

歳入決算額は923万4,000円余り、歳出決算額は835万7,000円余りで、実質収支額は87万7,000円余りとなりました。

次に、議案第47号、「下水道事業特別会計歳入歳出決算」であります。

歳入決算額は3,005万8,000円余り、歳出決算額は3,005万7,000円余りとなりました。

次に、議案第48号、「水道事業特別会計歳入歳出決算」であります。

まず、収益的収入及び支出につきましては、損益計算書の金額でご説明いたします。いずれも消費税を除いた金額となります。営業及び営業外収益は2億5,533万9,000円余り、営業及び営業外費用は2億2,054万7,000円余りとなり、収益から費用を差し引いた額、いわゆる経常利益が3,479万1,000円余りとなりました。この額から特別損失額13万5,000円余りを差し引いた3,465万6,000円余りが当年度純利益となり、前年度と比較しますと金額で692万7,000円余り、24.4%の増となりました。

次に、資本的収入及び支出であります。これについては消費税を含んだ金額となります。収入

決算額は5,630万円、支出決算額は1億6,544万3,000円余りとなり、収入額から支出額を差し引いた1億914万3,000円余りの不足額につきましては、消費税及び地方消費税資本的収支調整額並びに損益勘定留保資金などで補填いたしました。

以上が各会計の決算についての概要説明であります。

なお、監査委員より審査意見として、一般会計における経常収支比率は前年度と比較して減となったものの、依然として厳しい状況にあることから、今後の財政動向を見据えながら、さらなる行政改革の推進と財政規律の確立に努めるようご指摘をいただいておりますので、引き続き財政健全化を念頭に置きながら町政運営に当たってまいりたいと考えております。

続いて、議案第49号から議案第53号までは、令和4年度の各会計の補正予算であります。

まず、議案第49号、「一般会計補正予算（第4号）」からご説明いたします。

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ3億6,300万円を追加し、予算の総額を76億200万円といたしました。

歳入では、地方交付税6,453万円、前年度繰越金3億9,272万円余りをそれぞれ追加したほか、財源調整のため財政調整基金繰入金を2億3,505万円余り減額いたしました。

歳出では、2款総務費に大学生等応援支援金給付事業2,660万円余りを計上するなど、地方創生臨時交付金を活用した事業をそれぞれ計上したほか、財政調整基金積立金に1億9,639万円を追加いたしました。

また、地方債補正は、借入限度額の変更が1件であります。

次に、議案第50号、「国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」であります。

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ4,764万1,000円を追加し、予算の総額を16億6,913万5,000円といたしました。

歳入では、前年度繰越金を4,747万円余り増額いたしました。

歳出では、財政調整基金積立金2,373万円余り、諸支出金保険給付費等交付金ほか返還金344万円余り、予備費を1,777万円余り増額いたしました。

次に、議案第51号、「後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」であります。

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ302万2,000円を追加し、予算の総額を1億9,785万4,000円といたしました。

歳入では、前年度繰越金を302万円余り増額し、歳出では、財源調整のための予備費の増額をいたしました。

次に、議案第52号、「介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」であります。

既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ8,132万4,000円を追加し、予算の総額を18億1,145万3,000円といたしました。

歳入では、前年度繰越金8,039万円余りを増額し、歳出では、繰越金の一部3,600万円を介護給付費準備基金に積み立てたほか、国県支出金等返還金3,123万円余り、一般会計繰出金1,364万円余りを増額いたしました。

次に、議案第53号、「水道事業特別会計補正予算（第2号）」であります。

収益的収入及び支出の補正であります。既決予定額に増減はなく、支出において第1項営業費用で配水及び給水費を300万円増額し、同額を予備費から減額し調整いたしました。

資本的収入及び支出の補正では、支出の既決予定額に建設改良費50万円を追加し、予算の総額を1億7,870円といたしました。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億3,000万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填いたします。

債務負担行為は、設定が1件であります。

続いて、議案第54号は、「野辺地町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案」であります。

国家公務員に係る制度改正に合わせて、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするための措置を講ずるため提案するものであります。

議案第55号は、「野辺地町教育委員会委員の任命の件」であります。

野辺地町教育委員会委員の中村公允氏の任期が令和4年9月30日をもって満了となることから、新たに亀田小織氏を野辺地町教育委員会委員に任命したく、議会のご同意をいただくため提案するものであります。

以上、ご提案いたしました案件につきまして、その概要をご説明申し上げましたが、議事の進行に伴い、本職並びに関係職員から詳細ご説明申し上げますので、何とぞ慎重ご審議の上、御議決賜りますようお願いを申し上げ、提案理由といたします。よろしく願いいたします。

○5番（野坂 充君） 町長、今提案理由の中で、かなり飛ばしたところあるのですけれども、これわざと飛ばしたのですか。

○議長（戸澤 栄君） その飛ばしたところのページ数と場所を教えてください。

○5番（野坂 充君） まず、一番初めに11ページ、議案第43号の「前年度との比較では」というところから4行、あと13ページの議案第47号の「前年度との比較では」のところも多分飛ばしたと思うのですけれども、45号もかな。今全部やれば、ちょっと思い出せないの、かなり3か所か4か所飛ばしたと思うのですけれども、それわざとかどうか、ちょっと教えていただけますか。

○議長（戸澤 栄君） では、指摘があった部分で分かっている範囲でお答えください。

○町長（野村秀雄君） 提案理由につきましては、最初に申し上げた一部、昨日のことを足したり引いたりというのは私の意思でやっております。皆様にご理解をいただきたいと思っております。

○議長（戸澤 栄君） 5番、野坂 充君。

○5番（野坂 充君） では、町長、これ飛ばしたところを削除して、私らにもう一回配付してくれませんか。いいですか。

○議長（戸澤 栄君） 問題なければ。いい。

はい。

○町長（野村秀雄君） 先ほど読み間違いがあったようですので、訂正を申し上げます。

説明書の11ページ、議案第43号、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」について、歳入決算額は16億1,712万円余りでございます。先ほどは61億と読んだみたいでございます。訂正いたします。

○議長（戸澤 栄君） よろしいですか。

○5番（野坂 充君） 町長、その飛ばしたところは削除して、私らにもう一回渡してくれるという事でいいのですか。

○議長（戸澤 栄君） はい、どうぞ。

○町長（野村秀雄君） そのように、加えたところも加えて、皆様にお渡ししたいと思います。

◎常任委員会報告

○議長（戸澤 栄君） 次に、日程第5、常任委員会報告を議題にします。

初めに、総務常任委員会の報告を求めます。

7番、高沢陽子君。

○総務常任委員長（高沢陽子君） 総務常任委員会の報告を申し上げます。

委員会は、8月3日に開催されました。出席委員6名。説明員として副町長、総務課長、町民課長及び関係職員が出席しました。

案件は、所管に属する事務調査についてです。

初めに、町民課長から「子ども医療費・すこやか医療費の受給資格の認定誤りについて」説明がありました。

「税制改正に伴い、子ども医療費及びすこやか医療費の所得算定の基盤となっている児童扶養手当法施行令が改正され、施行後も令和2年度分所得を算定する令和3年7月から令和4年5月までの間、10万円を控除せず従前どおりの所得算定を行っていました。令和4年6月にすこやか医療費の年度更新準備で課税台帳との突合作業の際に、システムで10万円控除が適用されていないことで認定誤りが発覚しました。遡及認定者は、子ども医療費は20世帯25名、すこやか医療費は2世帯5名が該当となります。対応としては、6月25日から該当者へのおわびと遡及認定に関する書類を発送し、遡及適用分の支給申請があった方から、8月26日から順次支払いし、9月中には全て完了予

定です。再発防止策としては、法令改正等の対応は関係課との連携を密にするとともに、システム保守業者とも情報共有を図りながら適切な事務執行に努めます」と説明を受けました。

委員会は、8月3日に「学校施設の現地視察及び教育委員との懇談会」を実施しました。出席委員5名。説明員として副町長、教育長、総務課長、学校教育課長及び関係職員が出席しました。

学校施設の現地視察では、野辺地小学校でICT教育の現状を確認し、授業形式で実際にタブレットを使用しました。その後、校内を巡回して、平成30年度に実施した梁型仕上材落下防止工事の経過状況等を確認しました。次に、野辺地中学校敷地内を巡回して、植樹スペースについて調査しました。

教育委員との懇談会では、テーマとして「教育レベル向上による当町への移住・定住について」、「全国的に問題となっている教員不足の当町の現状と解決に向けて」、「優秀な教員獲得のための施策について」意見交換しました。

委員会は、継続審議することにしました。

よって、本委員会に付託されております「所管に属する事務調査」について、閉会中の継続調査を認めていただくようお願いいたします。

以上、総務常任委員会の報告であります。

○議長（戸澤 栄君） 総務常任委員会の報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑ございますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） 質疑ないものと認めます。

これで質疑を終わります。

お諮りします。報告のとおり決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） 異議なしと認めます。

したがって、報告どおり決定しました。

次に、建設産業保健衛生常任委員会の報告を求めます。

6番、岡山義廣君。

○建設産業保健衛生常任委員長（岡山義廣君） 建設産業保健衛生常任委員会の報告を申し上げます。

委員会は、7月5日に「こかぶ農家激励訪問」を実施しました。参加者は、町長、副町長、産業振興課長及び関係職員、常任委員会委員6名です。こかぶ農家4軒を訪問し、訪問先では、「肥料価格の高騰に対応した支援などについて」要望がありました。

委員会は、8月4日に開催されました。出席委員6名。説明員として副町長、総務課長、産業振

興課長、健康づくり課長及び関係職員が出席しました。

案件は、所管に属する事務調査についてであります。

初めに、産業振興課長から「野辺地町産直施設について」の説明がありました。

「産直施設の新たな活用について、町の特産品を中心とした販売活動の促進、PR活動等を行うことを条件に施設管理者を募集し、その応募者によるプレゼンテーション及び産業団体も含めた意見交換を行った上で管理者を決定、施設を貸し出すことで活用します。募集期間は7月1日から7月29日まで、期間中に2者から問い合わせがありましたが、最終的に1者の応募となりました。また、産直施設に隣接するトイレについて、野辺地町漁業協同組合から寄附があり、当面は町で管理し、産直施設の管理者が決定した際、トイレの管理も行ってもらいたいと考えています」と説明を受けました。

次に、健康づくり課長から「新型コロナウイルスワクチン接種状況及び4回目接種について」説明がありました。

「ワクチン接種状況は、令和4年6月末現在で3回目接種を終えた方は、65歳以上で4,469人、接種率は92%、18歳から64歳で4,745人、接種率は75.9%、12歳から17歳で343人、接種率は60.2%、5歳から11歳で2回目接種では248人、接種率は47.6%となっています。年齢区分による接種率の差異は、接種開始時期によるものです。また、4回目接種については、感染により重症化リスクが高い、3回目接種を終え5か月以上経過した60歳以上、18歳から59歳で基礎疾患を有する方、医療機関、高齢者施設、障害者施設などの従事者も対象となっています。オミクロン株に対応したワクチン接種については、国からの情報によると開発中であり、諸外国の動向等を踏まえ、法に基づく予防接種に位置づける方向で、引き続きワクチン分科会で検討しています」と説明を受けました。

委員から「ワクチン接種を奨励し接種率を高めては」との質問に対し、健康づくり課長から「広報等で啓蒙していますが、接種は任意となります。しかし、感染後の重症化リスクを軽減させることなどにつながるため、奨励については検討したい」と回答がありました。

委員会は、継続審議することにしました。

よって、本委員会に付託されております「所管に属する事務調査」について閉会中の継続審査を認めていただくようお願いいたします。

以上、建設産業保健衛生常任委員会の報告であります。

○議長（戸澤 栄君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑のある方。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） まず、こかぶ農家激励訪問の件についてお伺いしたいと思います。

この訪問の際に、肥料価格の高騰に対応した支援などについて要望がありましたとありますけれ

ども、先ほど町長の提案理由の中にも、肥料価格のほかにも大雨の被害等の報告があったようです。この7月5日の激励訪問の時点の要望、これについて、その後町がどの程度検討されたのか、支援策など、もし聞いているのであれば教えていただきたいと思います。

○議長（戸澤 栄君） 6番、岡山義廣君。

○建設産業保健衛生常任委員長（岡山義廣君） 8月3日以降豪雨、長雨等がありました。委員会の激励訪問は、今の8月の長雨、豪雨の前の時点でありまして、その時点では、今物価あるいはいろいろなものに対しての高騰があります。それに対しての要望があったわけですがけれども、町のほうではそれは受け止めて、質問すれば、そういった答えが出てくるとは思いますけれども、具体的に進んでいるものと私は確認しています。

以上です。

○議長（戸澤 栄君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） では、現段階ではまだ具体的な対策とか検討というところは、ちゃんとした報告は受けていないという解釈でよろしいかと思います。

その次の産直施設の件であります。隣接するトイレ、これについて漁協さんから寄附があって、当面は町で管理と。産直施設の管理者が決定した際に、トイレの管理も行ってもらいたいという説明がありました。

漁協さんからいつの時点で寄附があったのか。産直施設管理者、新たな事業者が決定するまでの間、当町で管理ということなのですけれども、その間、当町で管理している間というのは、どのような形で管理体制をしているのか、あるいはその間トイレは閉鎖しているのかというところは聞いておりますか。

○建設産業保健衛生常任委員長（岡山義廣君） 今の赤垣議員の質問ですけれども、応募者が2名ほどいて1名の方に決定しましたという報告がありました。あとの当事者と町のほうの具体的な内容について、管理の問題は管理者が決まり次第管理しますということですから、具体的なそういう報告はまだ受けていません。今の定例議会ありますから、どうぞ定例議会で話をしてもらっていいと思います。

○議長（戸澤 栄君） ほかがございますか。質疑ありませんね。

〔「なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） これで質疑を終わります。

お諮りします。報告どおり決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） 異議なしと認めます。

したがって、報告どおり決定をいたしました。

なお、原子力エネルギー対策特別委員会、それから新庁舎建設に係る特別委員会は、6月定例会後において開催されておりましたが、両特別委員会の期間は調査が終了するまでとなっていることから、閉会中の審議を認めたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（戸澤 栄君） ご異議なしと認めます。

したがって、原子力エネルギー対策特別委員会及び新庁舎建設に係る特別委員会の閉会中の審議は了承されました。

◎散会の宣告

○議長（戸澤 栄君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

これで散会いたします。

（午前10時22分）